

社会資本総合整備計画														防災・安全交付金		令和02年12月24日	
計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現																
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度（5年間）												重点配分対象の該当				
交付対象	十和田市																
計画の目標	大規模地震において下水道が有すべき機能の必要性や緊急性から、緊急的に耐震性の向上を図るべき施設について耐震化を実施するとともに、適切な改築更新を行うことで下水道としての基本的機能の確保を図る。																
全体事業費（百万円）		合計（A+B+C+D）		1,487	A	1,487	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C／（A+B+C+D）		0	%	

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		R03当初	R05末	R07末
1	処理場における改築更新工事の達成率を0%（R03）から100%（R07）に増加させる。			
	処理場における改築更新工事の達成率	0%	77%	100%
	改築更新済みの施設及び設備（箇所）／改築を行うべき施設及び設備（箇所）			

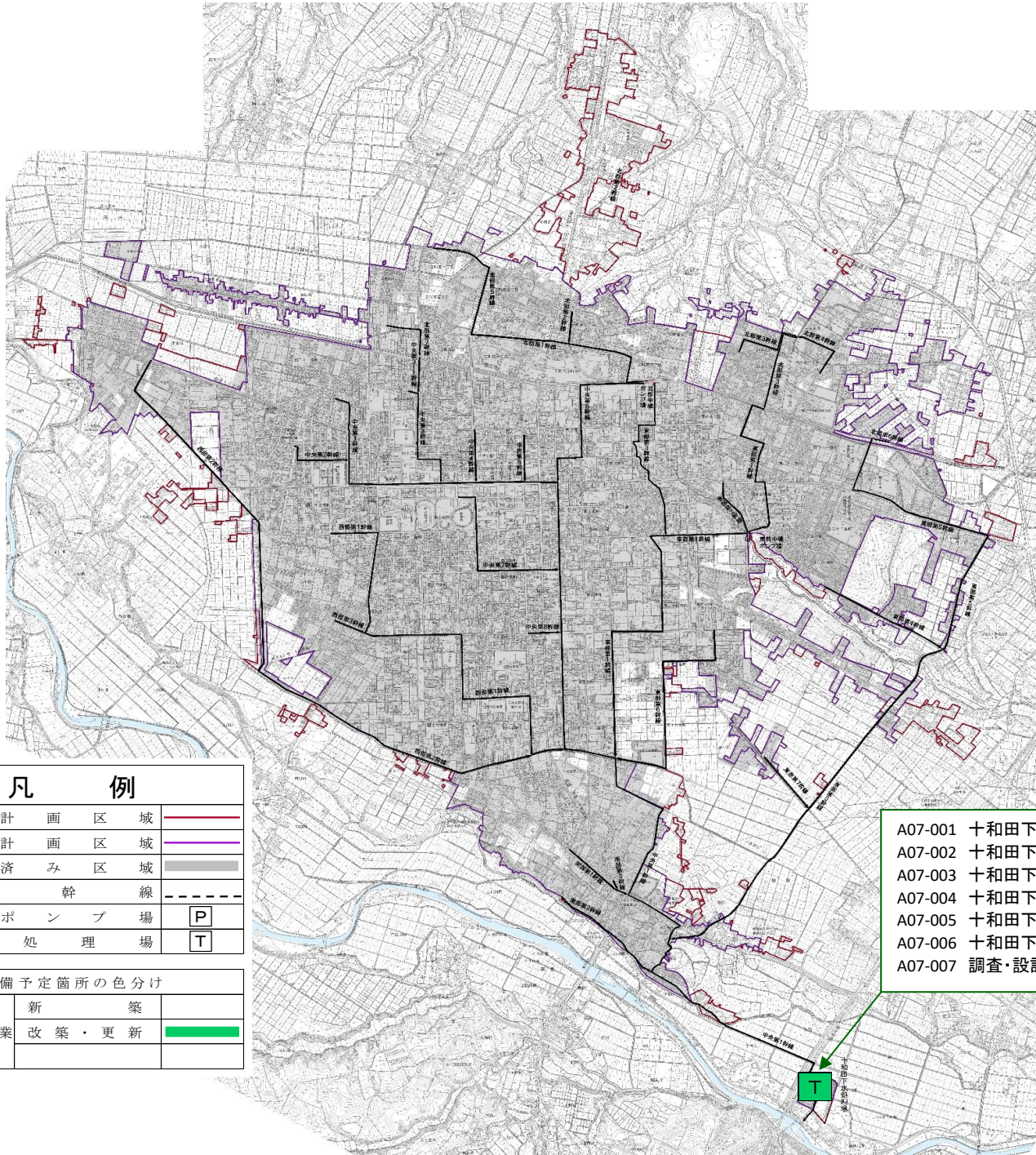
備考等	個別施設計画を含む	－	国土強靱化を含む	－	定住自立圏を含む	－	連携中枢都市圏を含む	－	流域水循環計画を含む	－	地域再生計画を含む	－

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処 理場	改築	十和田下水処理場	浮上濃縮棟	十和田市	■	■	■			335		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-002	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処 理場	改築	十和田下水処理場	余剰ガス燃焼設備	十和田市		■				96		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-003	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処 理場	改築	十和田下水処理場	ガスホルダ	十和田市				■	■	350		策定済
		ストックマネジメント																	
	A07-004	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処 理場	改築	十和田下水処理場	管理本館耐震補強	十和田市	■	■				196		策定済
		種別 2：増設																	
	A07-005	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処 理場	改築	十和田下水処理場	流入渠ほか耐震補強	十和田市		■	■			253		策定済
種別 2：増設																			
A07-006	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	終末処 理場	改築	十和田下水処理場	浮上濃縮棟耐震補強	十和田市				■	■	150		策定済	
	種別 2：増設																		
A07-007	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	－	－	調査・設計等	ストックマネジメント計画等	十和田市	■	■	■	■	■	102		－	
	種別 2：全種、ストックマネジメント																		

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名／ 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-008	下水道	一般	十和田市	直接	十和田市	－	－	調査・設計等	ストックマネジメント計画等	十和田市／焼山 処理区	■					5		－
		種別 2：全種、ストックマネジメント																	
											小計						1,487		
											合計						1,487		

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度	（5年間）	交付対象 十和田市

十和田処理区



凡 例		
全 体 計 画 区 域		
事 業 計 画 区 域		
整 備 済 み 区 域		
既 設 幹 線		
中 継 ポ ン プ 場		P
終 末 処 理 場		T
整備予定箇所の色分け		
基 幹 事 業	新 築	
	改 築 ・ 更 新	

- A07-001 十和田下水処理場
- A07-002 十和田下水処理場
- A07-003 十和田下水処理場
- A07-004 十和田下水処理場
- A07-005 十和田下水処理場
- A07-006 十和田下水処理場
- A07-007 調査・設計等

計画の名称	十和田市の下水道における防災・安全対策の実現		
計画の期間	令和03年度 ～ 令和07年度 (5年間)	交付対象	十和田市

焼山処理区



全体区域 43 ha

認可区域 43 ha

凡 例		
全 体 計 画 区 域		
事 業 計 画 区 域		
整 備 済 み 区 域		
既 設 幹 線		
中 継 ポ ン プ 場	P	
終 末 処 理 場	T	
整備予定箇所の色分け		
基 幹 事 業	新 築	
	改 築 ・ 更 新	

事前評価チェックシート

計画の名称： 十和田市の下水道における防災・安全対策の実現

事前評価	チェック欄
I. 目標の妥当性 ①上位計画等との整合性	
I. 目標の妥当性 下水道事業計画に基づく施設整備は概成しており、今後は効率的な管理・運営を図ることとしているものであり上位計画との整合性はとれている。	○
I. 目標の妥当性 ②地域課題への対応（地域の課題と整備計画の目標の整合性）	
I. 目標の妥当性 効率的な管理・運営と地域住民の生活環境の改善及び公共用水域の水質保全を目的とした処理場におけるストックマネジメント計画の目標を立てている。	○
II. 計画の効果・効率性 ①整備計画の目標と定量的指標の整合性	
II. 計画の効果・効率性 ストックマネジメント計画の目標達成に向けた定量的指標を設定している。	○
II. 計画の効果・効率性 ②定量的指標の明瞭性	
II. 計画の効果・効率性 定量的指標は処理場におけるストックマネジメント対策状況を的確に捉えており、効率的な管理・運営に適した指標である。	○
II. 計画の効果・効率性 ③目標と事業内容の整合性	
II. 計画の効果・効率性 事業内容は効率的な下水道施設の管理・運営に係わる事業としており、計画の目標と整合している。	○
II. 計画の効果・効率性 ④事業の効果（要素事業の相乗効果等）の見込みの妥当性	
II. 計画の効果・効率性 基幹事業のストックマネジメント対策等により、施設の安全な管理・運営を図ることができる。	○
III. 計画の実現可能性 ①円滑な事業執行の環境（事業熟度、住民等の合意形成などを踏まえた事業実施の確実性）	
III. 計画の実現可能性 地域毎に住民説明を行い、下水道事業計画に対する理解・協力を得て事業執行を図っている。	○
III. 計画の実現可能性 ②地元の機運（住民、民間等の活動・関連事業との連携等による事業効果発現の確実性）	

[illegible]